



貴志川線の未来を“つくる”会
kishigawa-sen.jp

貴志川線の未来を“つくる”会

VOL19
2023.6

発行／貴志川線の未来を“つくる”会

発行者／木村 幹生

〒640-0361 和歌山市伊太祈曾 558 TEL073-478-0053 FAX073-478-0998



2022年11月6日3年ぶりに開催6,000人来場

和歌山電鐵貴志川線2022年度実績

新型コロナからの回復の兆しはあるも 利用者3割減が続く

利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な利用減少は当期も続き、さまざまな制限は次第に緩和されたものの、コロナ前(2018年度)比で定期外66.9%、通勤定期79.8%、通学定期70.1%、合計で71.9%と3割近い減少となり、年間利用者は150万人に留まりました。

収支実績

前期比では、本業の運輸収入は微増となりましたが、車両の老朽化等による修繕費の増加、電力料金の高騰、コロナ対策の各種補助金の縮小を受け、修繕費に対する和歌山県・和歌山市・紀の川市による大型の追加支援があったものの、経常損益は1,500万円の赤字、累積損失は1億3,700万円に上っています。

これから

ローカル鉄道の再構築に向けた国の新たな支援制度の中身が固まりつつあります。すでに従来のかんくりみや事業者のさらなる経営努力だけでは克服できない状況の中で、この地域の公共交通をどのように維持していくべきなのか、新たな制度も注視しつつ、地域での真剣かつ早急な議論が求められています。

6・2記録的豪雨 貴志川線に大きな被害

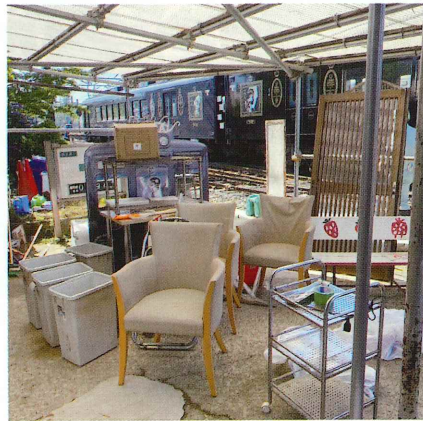
伊太祈曽駅構内・車両冠水、路盤流失、
社員・協力業者・両備グループの頑張りで早期復旧

2023年6月2日(金)の台風2号接近に伴う豪雨により、貴志川線は多くの施設・車両が被災しました。協力業者の総力を挙げた復旧作業、社員の昼夜を徹した対応、両備グループの物心両面での支援で当初の想定よりも早く復旧しましたが、6月2日朝から4日まで全面運休、5～6日までは通常の約半分の列車が運休し、多くに皆様にご不便をおかけいたしました。

また、線路の冠水によって多数の踏切で遮断状態が続き、市民の皆様にも多大なご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。

被災された地域の皆様に対しましても、衷心よりお見舞い申し上げます。

(文・写真=和歌山電鐵(株))



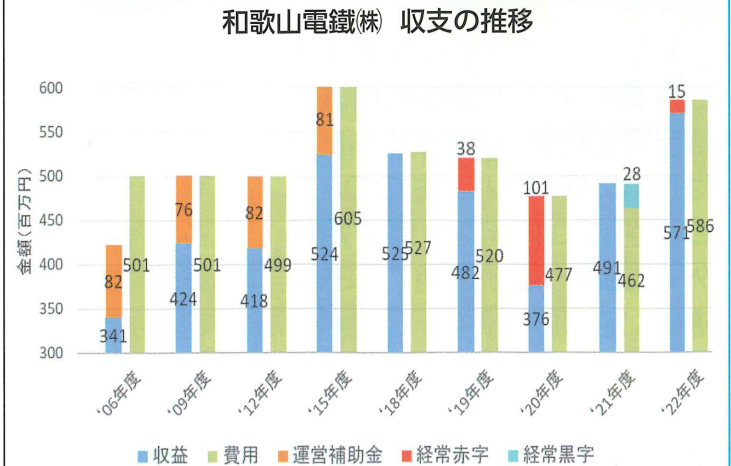
得 増量回数券 を利用しよう! **割引率はなんと20%**

会員限定 運賃は20枚分で1冊25枚綴り!

1家に1冊!
ご家族みなでご利用下さい。

●お買い物の日のお母さんに ●塾・アルバイトの日のお子さんに ●一杯飲む日のお父さんに ●通院の日のおじいちゃん、おばあちゃんに

輸送人員の推移・収支の推移



貴志川線が無くなることは絶対に困ります ～安全・快適 楽しい電車にしましょう～

貴志川線の未来を“つくる”会
代表 木村 幹生



朝夕、車内は通勤、通学、病院通い、買い物などの方でいっぱいです。貴志川線が無くなれば、この大勢の方々はどうなるのでしょうか？考えるだけでぞっとします。そして、紀の川市と和歌山市をつなぐ太いパイプが無くなります。

年間150万人の利用者の移動手段が無くなれば市民生活は成り立ちません。また、街づくりや環境への貢献、貴重な観光資源の意味も失われます。和歌山電鐵の懸命の努力も限界です。ボランティアも苦戦しています。でも私達は、廃線を避ける為に活動を続けます。永続に向け

「公有民営」を行政に訴え続けます。私達で、沿線住民や関係団体の支援をお願いしつつ知恵を出し、乗りたくなる安全・快適・楽しい電車にしましょう。

貴志川線の未来を“つくる”会の 最新情報はこちらから

WEB Facebook Twitter Instagram



つくる会のめざす「公有民営方式」とは

貴志川線の未来をつくる会は和歌山電鐵を永続させるには、「公有民営方式」が最善な経営形態だと考えています。

線路や車両や駅舎など施設は行政「公」が保有し、列車の運行や駅業務などを鉄道事業者「民」が行う方法です。鉄道の経営には多くの施設が必要で、点検や補修などの維持管理に多くの費用がかかります。この役割を「公」が担い、鉄道会社「民」は列車の運行に専念する事で負担を軽減して、赤字を無くし公共交通の維持

を図る官民一体の取り組みです。

地域住民の足を民間会社の営利にまかせていいはありません。欧州では公共交通の維持は行政の責任としてこの方式が多くで取り入れられています。

日本でも、福井鉄道（福井県）や若桜鉄道（鳥取県）、三陸鉄道（岩手県）などで実現しており、近江鉄道（滋賀県）でも2024年からこの方式に移行します。

和歌山電鐵も、行政の理解を得て公有民営化を実現し、永続させましょう。

2023年度(令和5年)役員名簿

(2023年4月8日第1回定例会承認)

役職	名前	役職	名前	役職	名前
顧問	濱口晃夫	幹事	吉本昌純	幹事	岸光男
代表	木村幹生	//	岩垣勉	//	堀洋子
副代表	奥重視	//	梶本祥子	//	大田裕之
//	川村記義	//	西本哲夫	//	三上龍夫
事務局長	奥山和生	//	川口昌宏	//	川端敏之
事務局次長	奥重貴	//	稲置佳広	//	藤田精二
//	富高彰	//	織田元宏	//	尾崎洋一
会計	下崎良樹	//	藤田宗治	//	大橋経子
幹事	杉林雅義	//	次田尚弘	監査	山本滋子
//	堀内建作	//	鳥淵朋子	//	中西充子
//	中西由子	//	中西望		
//	小山裕史	//	大谷豊		

2022
6月



密を避け
5回に分けて

3年ぶりの「じゃがいも掘り」(第15回)
(6月4日)

7月



83名に入会
いただきました

和歌山駅ホームで会費受付
(7月6日~8日)

11月



にわか駅員さん
がんばる

橋梁架替え工事によるバス代行輸送応援
(西山口駅・大池遊園駅) (11月26日)

12月



サンタさん
ありがとう

3年ぶりの「クリスマス電車」
(12月18日)

2023
3月



お花見は
大池遊園へ

さくら祭り飾りつけ
(3月5日)

4月



今年も
たくさん
採れました

「貴志川線に乗って
タケノコ掘り」(第18回)
(4月16日)

トピックス

橋梁の架け替え (2か所)が完成

2020年度より開始した橋梁架け替え工事が、2か所ともに完成しました。

近年相次ぐ豪雨による一帯の浸水被害軽減を目的とした、河川等の拡幅に伴うものです。

和田川合流直前の永山川に架かる平尾第1橋梁(吉礼~伊太祈曾間)



門松を製作。伊太祈曾・貴志両駅に設置

貴志川線の未来をつくる会は、2010年から年末に門松作りを行っております。

昨年末も竹の切り出しから、松竹梅の飾りつけを行い、お正月のお客様をお迎えしました。



安全への取り組み 軌道(道床・マクラギ・レール)の更新

噴泥対策として道床の砕石化、軌間の拡大防止対策としてマクラギのコンクリート化、減耗したレールの更新等を、曲線部を中心に取り組んでいます。



〈施工前〉



〈施工後〉

「うめ星電車」

2016年6月4日、リニューアル列車第3弾として登場。紀州和歌山を代表する特産品「南高梅」(なんこううめ)をモチーフに、赤紫のメタリックの外観と和紙や組子を使った木の香あふれる内装が豪華。九州が「ななつ星」なら紀州は「うめ星」の心意気あふれる車両。デザインはもちろん水戸岡鋭治さん。



ローカル線に彩り(いろどり)をプラス ～鉄道を動かし、社会を動かす～ 開催

貴志川線の未来をつくる会女性有志の「にじいろトレインの会」は、2023年2月25日、「ローカル線に彩(いろどり)をプラス!」～鉄道を動かし、社会を動かす～を開催しました。

このイベントは、基調講演、インタビュートーク、ソングメッセージ、質疑応答のプログラムで、和歌山県「みんなに男女共同参画」提案事業に採択され実施したものです。

最初に、和歌山県NPOサポートセンターセンター長志場久起さんをお迎えし「鉄道会社における女性活躍推進と地域の熱意で支えるローカル鉄道」という演題でお話いただきました。

インタビュートークは、スピーカーに西日本旅客鉄道株式会社の香山芳美さん、和歌山電鐵株式会社の玉置郁恵さん、神藤いつきさんが登場。貴志川線の未来をつくる会幹事の堀洋子の進行でなごやかな雰囲気の中で女子トークが繰り広げられました。

最後にシンガーソングライターのアキゆらさんが「なごり雪」「きらめく明日へ」を歌い、透明感のある歌声で会場が一体感に包まれました。

質疑応答でも活発な意見交換ができ、参加者からは、「久しぶりに電車に乗りにいこうと思った」「女性の鉄道員みなさんに頑張ってもらいたい」「子育て中のママさんの目線で駅が変わるとうれいです」等の声が寄せられました。



つくる会活動日誌 (抄)

2022年 (令和4年)	
6月 11土	2022度つくる会第3回定例会 年度内13回開催
16木	会報18号第3回編集委員会
19日	たま駅長命日催事
26日	伊太祈曽駅花壇、プランター手入れ(月2回程度)
27月	新年度会費納入お願い、会報18号発送
7月 4月	和歌山東高校貴志川線活性化プロジェクト沿線探訪
6水~8金	和歌山駅9番ホーム会費受付(延べ14名) 入会83名
9土	渡邊寛元元常務を称え送る会
14木	第4回貴志川線運営委員会(毎月1回開催)(代表)
8月 20土	貴志川線祭り企画委員会
9月 15木	夏休みイベント「思っきり、夏を楽しめ!貴志川線お仕事体験」
17土	第21回那賀振興まちづくり会議(和歌山県)
24土	紀の川市民貴志川線沿線ウォーク(48名参加)
10月 4火	信愛女短大と山東まちづくり会地域交流会 with つくる会
8土	伊太祈曽駅前花壇、プランター整備、花植付け
13木~19水	和歌山商工まつり グッズ販売、つくる会入会受付
19水	旧貴志川町内幼・保育園 貴志川線祭り ポスター・ちらし配布
29土	貴志川高校、貴志川中学とウォールアート制作打合せ
11月 5土	貴志川線祭り スタッフ配置検討会議
6日	第16回貴志川線祭り 会場準備作業
24木	第16回貴志川線祭り+貴線祭
26土	「じゃがいも掘り」長原北・鳥居地域資源保全会役員会に出席
27日	橋梁工事によるバス代行輸送応援(西山口・大池遊園両駅)
12月 1木	貴志駅PRボード もみじ取り外し作業
10土	たま電車ミュージアム号運転開始1周年記念催事
15木	会費納入再度のお願い発送作業(215通)
18日	クリスマス電車プレゼント袋詰め作業
28水	クリスマスプレゼント電車運行応援 和歌山・貴志駅・車内(9名)
	門松作りワークショップ、伊太祈曽・貴志駅に設置(12名) 電鐵と合同
2023年 (令和5年)	
1月 5木	たま駅長就任16周年記念式典 貴志駅(5名)
18水	西山口駅 ウォールアート取付け下見
2月 1水	岸本周平和歌山県新知事就任表敬訪問(小嶋社長と本会)
22水	ニャンニャンニャンの日記念イベント 貴志駅(3名)
25土	にじいろトレインの会「ローカル線に彩りをプラス!」参加者45名
3月 1水	西山口駅 ウォールアート除幕式(市役所、市議会、中・高校等)
5日	貴志駅PRボード桜バージョンに改装
11土	大池遊園駅 さくらまつり装飾(提灯、さくら花)取付け(12名)
13月	ぶる博 ヘッドマークを作って電車に取付け写真を撮ろう
4月 8土	大池遊園駅前 つつじ剪定作業
13木	2023年度つくる会第1回定例会(以降毎月1回開催)
15土	2023年度第1回貴志川線運営委員会(以降毎月1回開催)
16日	新一年生にホリデーパスポート贈呈式 貴志駅
22土	第18回タケノコ掘り体験(13名)参加者(一般の部のみ)96名
24月	貴志駅PRボード、大池遊園駅さくら飾り撤去作業
29土	和歌山中央メーデー ミニトレイン運転応援(5名)
5月 9火	2022年度(R4)会計決算監査
20土	たま駅長24歳誕生日催事、写真集発行 貴志駅
23火	会報19号 第1回編集委員会(6名)
24水	第16回貴志川線に乗ってじゃがいも掘り 会員の部抽選
25木	西和佐小学校「電車教室」つくる会の活動報告
6月 3土	会報19号第2回編集委員会(6名)
	「じゃがいも掘り」打合せ 長原北・鳥居地域資源保全会役員会出席
	第16回じゃがいも掘り 中止に伴う掘り出し作業(スタッフ29名)
	会員の部参加予定者80名に協力いただく

2023年度(令和5年) 活動計画

地域の財産、貴志川線の永続をめざして「公有民営化」への道を開こう

I. はじめに

2022年度は、新型コロナウイルス感染症による大きな影響も3年目となった2022年度末頃からの制限緩和により、外出自粛、海外旅行客激減などからの回復が見込まれ明るい兆しが見えてきましたが、乗車人員はコロナ禍前の約72%の150万人に止まり、2022年度貴志川線の決算は、1,500万円の赤字となりました。

コロナ禍に巻き込まれ、また社会状況の変化により、貴志川線利用からマイカーへの流出も多く、沿線の就業人口減少や少子化、道路整備の進捗もあいまって厳しい状況が続きますが、貴志川線は私たちの暮らしを支える公共交通として、なくてはならない鉄道であることに変わりはありません。

なくてはならないこの貴志川線を残し永続させていくため、私たちは貴志川線を応援する市民団体として、市民の力と行動力を高めて引き続き活動を行っていきます。



II. 基本方針

地域の財産であり、暮らしを支える公共交通として「貴志川線」はなくてはなりません。

社会状況の変化に対応して永続を確実なものとするには、行政と事業者、住民の総合力が発揮できるシステムとして、早急に「公有民営化」の実現を図る以外にないと考えます。

私たちは、「公有民営化」の実現を最大の目標に掲げて活動を進めます。

そのため、住民の利用促進とイベント開催等に取り組み、乗車人員250万人の実現をめざして和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して活動を進めます。



III. 重点目標

- (1) 「公有民営化」の実現にむけ SNS による気運の醸成と利用促進
- (2) 快適・便利で利用しやすい貴志川線づくり
- (3) 会員2,000人を目指し、組織の若返りによる活性化
- (4) 大池遊園駅対向設備復活、日前宮前～神前駅間新駅設置



IV. 具体的な取り組み

(1) 市民の声を結集して活動できる組織づくりに取り組みます

- ① 会員拡大へ積極的に入会呼びかけを行います
- ② ボランティアスタッフの登録と、活動への参加を進めます
- ③ 会員限定イベント、増量回数券など会員特典の拡充を図ります
- ④ 定例会への参加を呼びかけ、若返りと態勢の強化を図ります

(2) 利用促進のため、貴志川線魅力発信へ電鐵と協働して取り組みます

- ① 若い力の活動参加へ、各大学、高校等と連携し多様な活動への協力と支援を行います
- ② 電鐵・つくる会の実態に見合った多様な分散型イベントを企画し具体化します
- ③ 駅設備、ダイヤなど要望の集約と提言を行い、

その実現をめざします

- ④ 地域の催事に積極的に参加し、地域や各種団体との協働に取り組みます

(3) 広報、PR 活動に取り組みます

- ① 会報発行、入会促進リーフレット作成、ホームページの活用、横断幕等の製作・掲出
- ② SNS(ホームページ、Facebook、Twitter、Instagram)を活用した情報発信に取り組みます

(4) 地方鉄道の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組みます

- ① 「公有民営化」等、交通政策の学習と情報収集に取り組みます
- ② 地方鉄道を守る運動を進める団体との交流を進めます

2022年度
(令和4年)

貴志川線の未来を“つくる”会 会計決算報告

2022年4月1日～2023年3月31日

2022年度(令和4年)会員は1,594名、ご入会ありがとうございました
会計決算をご報告いたします【2023年度第2回定例会承認(2023年5月13日開催)】

2022年度(令和4年)決算報告

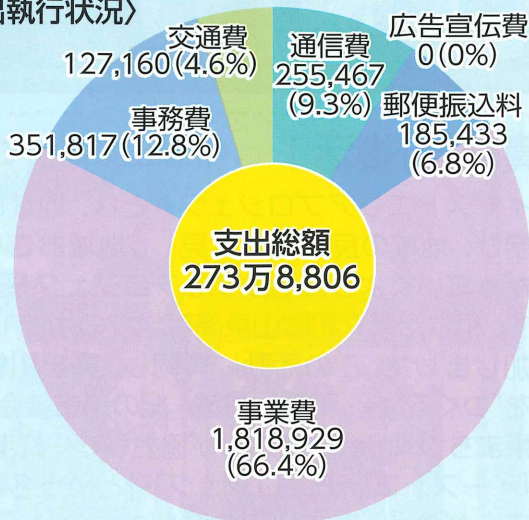
〈収入の部〉

科目	金額	摘要
前年度繰越金	1,649,463	
会費	1,594,000	1,594名
雑収入	783,682	寄付、貴志川線祭り縁日、預金利息
合計	4,027,145	

〈支出の部〉

科目	金額	摘要
通信費	255,467	会報・会費納入お願い、電話代、資料発送等
郵便振込料	185,433	郵便振込加入者負担手数料
広告宣伝費	0	
事業費	1,818,929	イベント費用、会員募集、会報制作費等
事務費	351,817	コピー使用料、会計業務委託費、事務用品等
交通費	127,160	イベント等46件、スタッフ交通費実費
合計	2,738,806	

〈支出執行状況〉



〈収支決算〉

収入	4,027,145
支出	2,738,806
周年事業積立金	100,000
次年度繰越金	1,188,339

〈繰越金内訳〉

普通預金	838,660	(紀陽銀行国体道路支店)
郵貯預金	45,825	
現金	303,854	
合計	1,188,339	

〈基金内訳〉(貴志川線整備基金) 紀陽銀行国体道路支店

定期預金	1,134,885	(前期繰越1,134,866と利息19円)
------	-----------	-----------------------

〈特別会計内訳〉(ニュース和歌山25周年記念助成金) ゆうちょ銀行山東郵便局

普通預金	135,823	(前期繰越より変動なし)
開業15周年記念和歌山駅ホーム時計寄贈 623,700円拠出		

〈特別会計内訳〉(周年事業積立金) 紀陽銀行貴志川支店

普通預金	200,000	(前期繰越100,000円、22年度拠出100,000円)
------	---------	-------------------------------

会計監査報告書

貴志川線の未来を“つくる”会 2023年4月24日

代表 木村幹生 殿

監査 山本 滋子 印

監査 中西 充子 印

貴志川線の未来を“つくる”会 会則第9条にもとづき、2022年度(令和4年度)会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2023年4月24日
2. 監査実施場所 和歌山電鐵株式会社 本社内
3. 監査対象 2022年度会計帳票等
4. 監査対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・領収書・証拠書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので、ここに報告いたします。 以上

郵便振替払込加算金(110円)にご協力をお願いします

会費納入にご利用の郵便振替について、従来は受取人(貴志川線の未来をつくる会)負担のみでしたが、2022年1月17日から郵便料金改定が行われ、現金(窓口、ATM共)で払込みされる会員の皆様にも加算金110円を負担いただくように改正が行われました。

つきましては、事情をご理解の上ご協力をお願いいたします。



貴志川線運営委員会

貴志川線の永続的運営を目的に、各団体が参加して毎月1回定例会を開催し、課題の解決に向けた協議、経営状況の開示等、運営方針決定のための意見・情報交換を行っています。

構成団体

- ・和歌山県 ・和歌山市 ・紀の川市 ・和歌山商工会議所
- ・紀の川市商工会 ・県立和歌山東高校 ・県立貴志川高校
- ・和歌山の交通まちづくりを進める会「わかやま小町」
- ・山東まちづくり会 ・貴志川線の未来を“つくる”会
- ・和歌山電鐵株式会社



若者も応援しています。

西山口駅にウォールアート完成！



紀の川市立貴志川中学校と和歌山県立貴志川高等学校の美術部の生徒が描いたウォールアートが完成しました。

「過去から現在、未来に向かって旅をするイメージで、地元を元気にしたいとの思いを込めて」描いて頂きました。来年度も作品制作を予定しています。この取り組みが、あたたかな思いとともに未来へとつながっていくことを期待しています。

「貴線祭」復活！ 〈和歌山東高校イーストエリアプロジェクト〉

イーストエリアプロジェクトとは、地域について学び、地域の良さを再発見し、地域おこしにつながっていくように活動するプロジェクトチームです。和歌山県立和歌山東高等学校の生徒14名が参加しました。この活動に賛同し、貴志川線の未来を“つくる”会・和歌山電鐵・紀の川市議会議員・山東まちづくり会の皆さんが協力してくれました。



「イーストエリアプロジェクト」という名称は生徒自らが考え、貴志川線の各駅をまわり、清掃活動やその周辺の歴史や興味深い場所を探る取り組みを行いました。

秋には、かつて和歌山県立和歌山東高等学校で行っていた「貴線祭」が復活できればと話し合い、皆さんのご協力もあり、貴志川線まつりと同時開催で実現ができました。

● 定例会のご案内 ●

貴志川線の未来を“つくる”会では、定例会を月1回(第2土曜日13時30分)開催しています。

どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。



ボランティアスタッフ募集!

ボランティアスタッフ募集しています。参加頂ける方はお送りしている会費振込票のボランティアスタッフ登録欄の「希望します」に○印をお付け下さい。(年度毎更新です)

または、木村代表までご連絡下さい。

☎0736-70-1070 代表 木村 幹生まで

貴志川線の未来を“つくる”会 2023年度(令5)新規継続入会募集中

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。

2023年度(令和5年)会費の納入にご協力いただきますようお願いいたします。

■ 会 費 年額1,000円
(期間：加入日に関わらず2024年3月31日まで)

■ 納入方法 郵便局振込み
口座番号：00960-1-277944
〔事務局〕和歌山市伊太祈曾558
伊太祈曾神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームでの受付は

振込手数料不要!

7月5日(水)、6日(木)、7日(金)
15:00~19:30

即入会
OK